

大阪府 電子見積合せ

クライアント環境設定 マニュアル

令和5年1月

目次

1 事前準備の流れ	2
2 パソコン・インターネット環境の準備	3
3 電子入札補助アプリのインストール	5
4 信頼済みサイトの登録	9
Microsoft Edge(Chromium版)の場合	
既定ブラウザを Edge に変更する手順	14
キャッシュクリア方法	18
ポップアップの許可設定	20
「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	23
Google Chromeの場合	
既定ブラウザを Edge に変更する手順	24
キャッシュクリア方法	28
ポップアップの許可設定	30
「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	34
8 注意事項【JIS2004の使用制限について】	36
9 お問い合わせ先	37

！注意！

このマニュアルは、**電子入札用のICカードを保持せず、IDとパスワードでログインする事業者向けの資料**です。
電子入札用のICカードを保持している場合は、認証局（ICカード発行会社）が提示する設定を行ってください。

1. 事前準備の流れ

電子見積合せをご利用頂くには、下図手順にある③～⑨の設定が必要です。

電子入札用のICカードを保持しており、ご使用になるパソコンで、大阪府電子入札システムを既に利用しているか。

はい

本マニュアルの設定は不要です。

いいえ（電子入札用のICカードを持っていません）

2 まずはご使用のパソコン、インターネット環境が利用可能環境に合致しているかどうかの確認をお願いいたします。（3ページ参照）

3 電子入札補助アプリのインストール（5～8ページを参照ください）

4 信頼済みサイトの登録（9～13ページを参照ください）

利用するブラウザをどちらか選択してください。（Internet Explorerは利用できません。）

Microsoft Edge
（Chromium版）
を使う



Google Chrome
を使う



迷ったら、Edge

5a 既定ブラウザを Edge に変更する手順（14～17ページ）

6a キャッシュクリア方法（18～19ページ）

7a ポップアップの許可設定（20～22ページ）

8a 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法（23ページ）

5b 既定ブラウザを Chrome に変更する手順（24～27ページ）

6b キャッシュクリア方法（28～29ページ）

7b ポップアップの許可設定（30～33ページ）

8b 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法（34～35ページ）

9 注意事項【JIS2004の使用制限について】（36ページを参照ください）

2. パソコン・インターネット環境の準備

大阪府電子見積合せは、
JACIC(一般財団法人日本建設情報総合センター)の「電子入札コアシステム」を採用しています。

JACIC(一般財団法人日本建設情報総合センター)CALIS/EC部 (電子入札コアシステム・電子入札について)
→ <http://www.cals.jacic.or.jp/>

大阪府電子見積合せをご利用になるにあたって必要なパソコンの環境は、以下の表を参照ください。

● 電子入札コアシステムに必要なパソコン環境等

パソコン	OSがサポートしているPC/AT互換機(DOS/V)
CPU	以下の機器仕様で動作確認済みです <ul style="list-style-type: none"> ・PC/AT互換機(DOS/V機)であること ・CPU Core Duo 1.6GHz 同等以上 ・メモリ 1.0GB以上 <ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスク容量 空き容量が1ドライブに1.0GB以上 ・CD-ROMドライブがついていること ・シリアルポート又はUSBポートの空きがあること ・1024×768ドット(XGA)以上
対応OS	Windows10 (Home/Pro) (32bit/64bit) Windows11 (Home/Pro) (64bit) ※ JIS2004は利用できませんのでご注意ください。
対応ブラウザ	Microsoft Edge(Chromium版)もしくはGoogle Chrome

- ・ご契約の民間認証局のICカードリーダーのソフトウェア条件も合わせてご確認ください。
- ・Windows ログインのユーザ名は、1バイト文字(半角英数字)に限ります。
- ・令和4年6月6日以降、Windows10 に搭載されているInternet Explorerには対応しておりませんので、Microsoft Edge(Chromium版)もしくはGoogle Chromeをご利用ください。

●ソフトウェア／ネットワーク環境等

回線速度	64Kbps 以上を推奨
通信プロトコル (通信規約)	<ol style="list-style-type: none"> 1. HTTP 2. HTTPS 3. LDAP 4. SMTP <p>上記4点の通信プロトコルが全て使用可能なこと。 インターネットを利用する場合には、プロバイダ(ISP)との契約が必要です。 電子入札コアシステムで使用する、上記の通信プロトコルが通過可能なプロバイダをお選びください。 また社内LAN等でファイアウォールを使用されている場合にも、上記の通信プロトコルが通過可能なように設定してください。 詳細はご利用のプロバイダやネットワーク管理者にご確認ください。 光回線などの常時接続サービスを推奨します。</p>
電子メール	<p>送受信が可能なこと。 ※各種通知書(見積り採用通知など)発行のお知らせを電子メールで行います。 お知らせメールは、あくまでも補助機能です。 定期的に大阪府電子見積合せにログインし、見積り案件や各通知書を確認してください。</p>
その他	<p>プロキシ及びプロキシサーバ経由での接続は動作保証いたしません。 詳細はネットワーク管理者にお問合せください。</p>

●その他の環境等

プリンタ	<p>見積書の控えや、申請時のID・パスワードなどを印刷する場合は必要になります。 A4用紙が印刷できるプリンタを推奨します。</p>
ウイルスチェック	<p>ウイルスチェック用ソフトです。 (※フリーソフトは推奨しません)</p>

3. 電子入札補助アプリのインストール

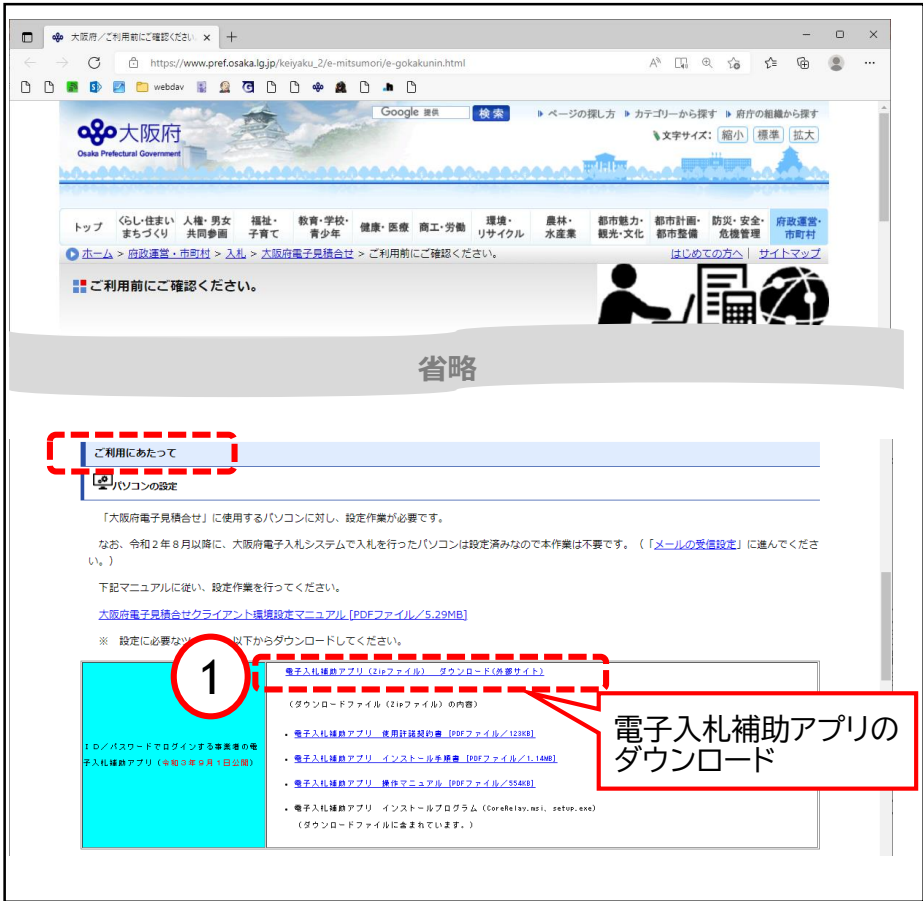
大阪府電子見積合せをご利用頂くには、電子入札補助アプリのインストール、及び許可 URL リストに大阪府電子見積合せのURL情報を入力する必要があります。

電子入札補助アプリは、以下のホームページよりダウンロード頂き、ファイルの展開を実施してください。展開ファイルに収められているインストーラ、インストール手順書によりインストールと設定を実施してください。

(1) 電子入札補助アプリのダウンロードと展開

手順の中で必要なインストールファイル等は以下のホームページからダウンロードしてください。

『ご利用前に確認ください。』ホームページ
 URL: https://www.pref.osaka.lg.jp/keiyaku_2/e-mitsumori/e-gokakunin.html



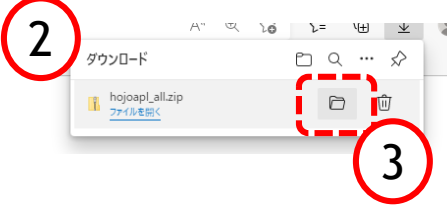
手順1

EdgeもしくはChromeを起動し、上記「ご利用前に確認ください」のページを開きます。電子入札補助アプリをダウンロードします。(左記はEdgeの画面です)

①「パソコンの設定」の「電子入札補助アプリ (Zipファイル) ダウンロード」をクリック

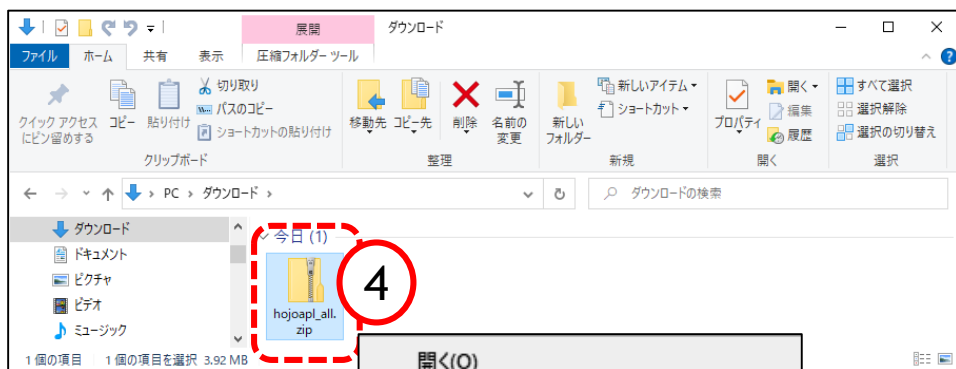
②ダウンロードが終わるまで待ちます。

③完了画面で「フォルダーに表示」をクリック



手順2

エクスプローラが起動し、ダウンロードフォルダが表示されます。ダウンロードしたファイルを展開します。



④ダウンロードしたファイル「hojoapl_all.zip」を選択して、右クリック

⑤「すべて展開」をクリック

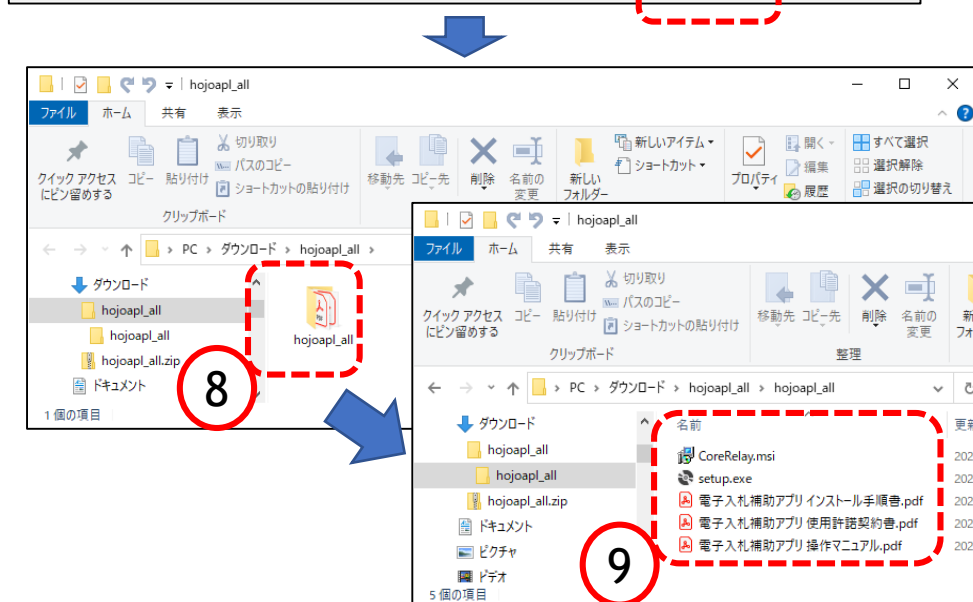
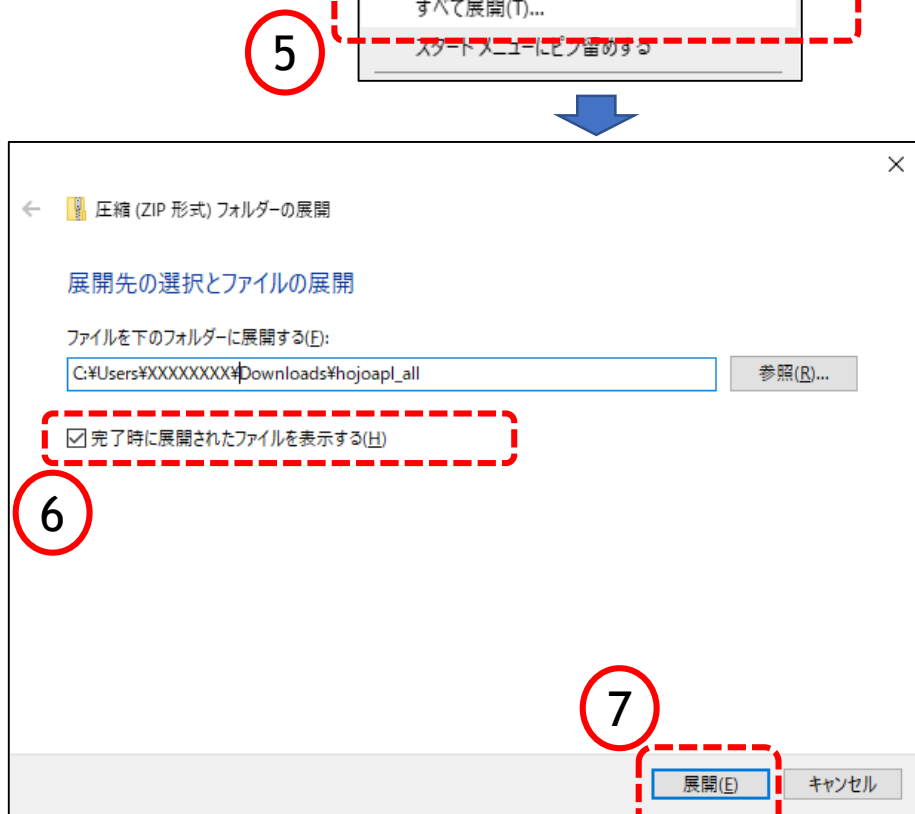
⑥圧縮[ZIP形式]フォルダの展開画面が表示されます。「完了時に展開されたファイルを表示する」にチェック

⑦「展開」をクリック

⑧展開されたフォルダが表示されます。「hojoapl_all」フォルダを選択してダブルクリック

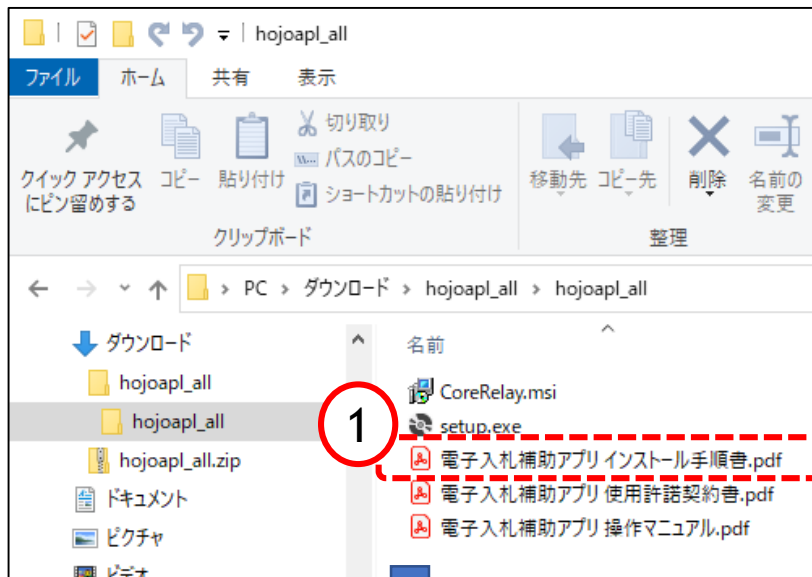
⑨フォルダ内のファイルが表示されます。

次に電子入札補助アプリのインストールを行ってください。



(2) 電子入札補助アプリのインストール

展開されたファイルから電子入札補助アプリをインストールします。



手順1

インストール手順書を表示します。

①展開されたファイルの「電子入札補助アプリ インストール手順書.pdf」ファイルをダブルクリックして表示



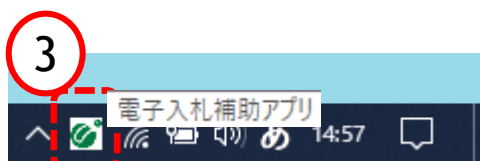
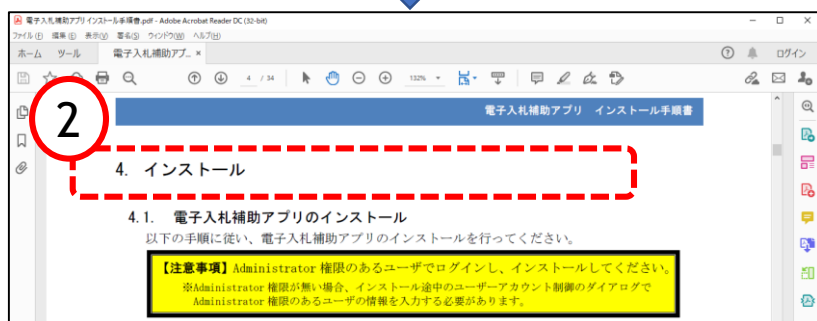
手順2

手順書に従い、インストールします。

②表示された「電子入札補助アプリ インストール手順書」の4ページ目「4. インストール」を参照してください。


4.1. 電子入札補助アプリのインストール
4.2. 電子入札補助アプリの起動方法

を実施してください。




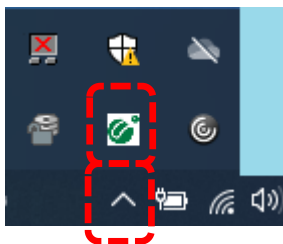
手順3

インストールできたことを確認します。

③インストール終了後、パソコンを再起動して、画面右下のタスクトレイに電子入札補助アプリのアイコン  が表示されていることを確認してください。

アイコンが無い場合は？

タスクトレイに電子入札補助アプリのアイコンが無い場合は、隠れている場合があります。  クリックして存在するか確認してください。



(3) 電子入札補助アプリの設定

電子入札補助アプリをインストールした後、許可URLリストに登録を行ってください。

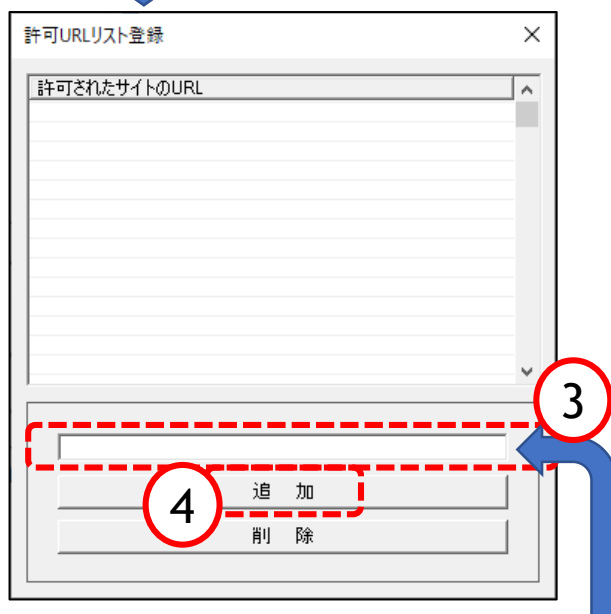


手順1

許可URLリスト登録を表示します。

①画面右下にある電子入札補助アプリのアイコンを右クリック

②「許可URLリスト登録」をクリック



手順2

許可URLを登録します。

③入力欄に「<https://www.e-nyusatsu.pref.osaka.jp>」を入力

④「追加」ボタンをクリック

⑤許可されたサイトのURLに入力したURLが追加されます。

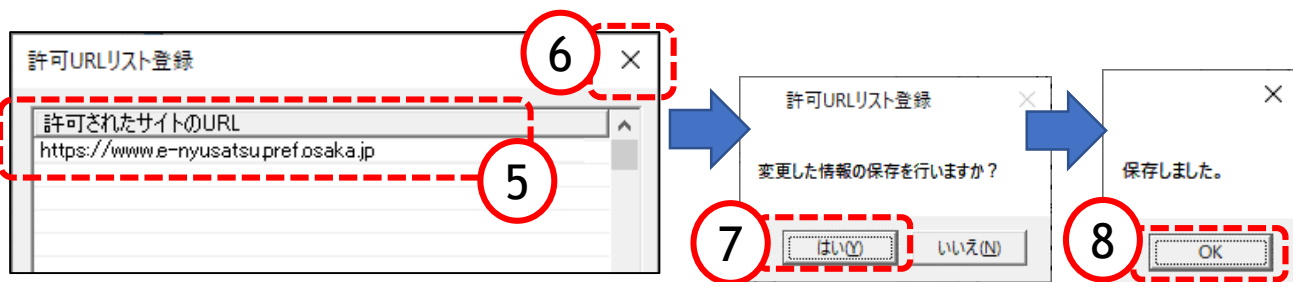
⑥「×」をクリック

⑦「はい」ボタンをクリック

⑧「OK」ボタンをクリック

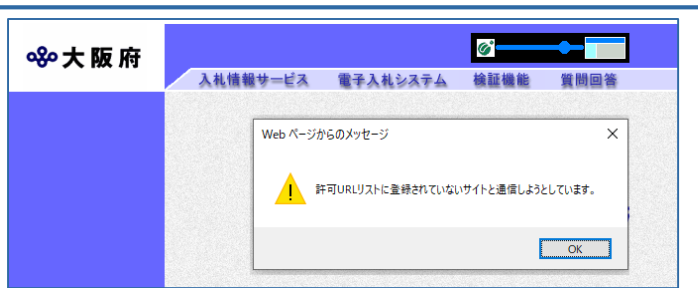
<https://www.e-nyusatsu.pref.osaka.jp>

※ 半角で正しく入力してください。



システムを起動すると右のようなエラーが表示された場合は？

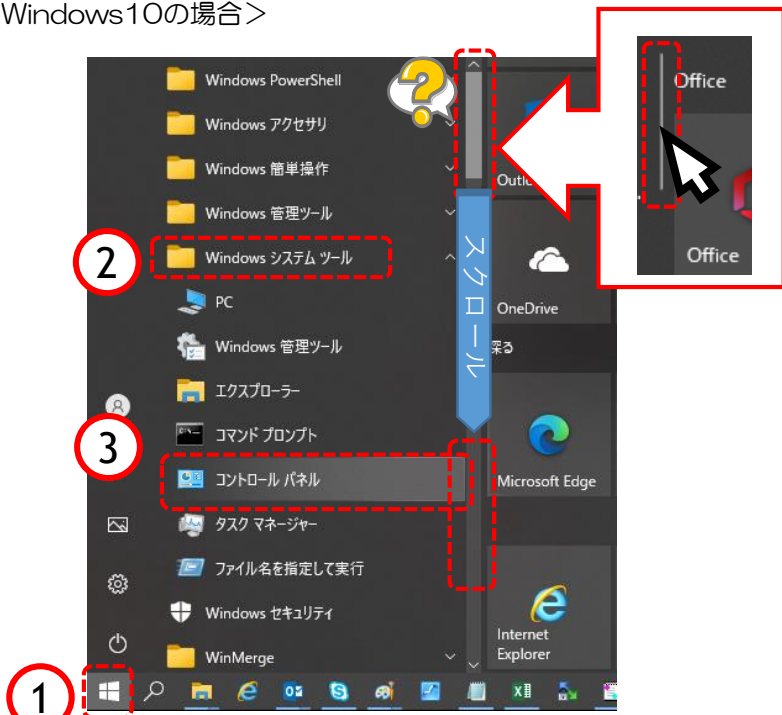
許可URLが正しく入力されていないか、登録されていません。
許可URLリストを再度表示して、入力内容を確認してください。



4. 信頼済みサイトの登録

大阪府電子見積合せの使用時に、ポップアップブロック、ファイルのダウンロードがブロックされると、大阪府電子見積合せが正常に動作しないことがあります。
IEのインターネット オプションより、「信頼済みサイト」に大阪府電子見積合せのサーバアドレス情報を登録することにより正常に動作するように設定します。

<Windows10の場合>



手順1

以下の手順で、

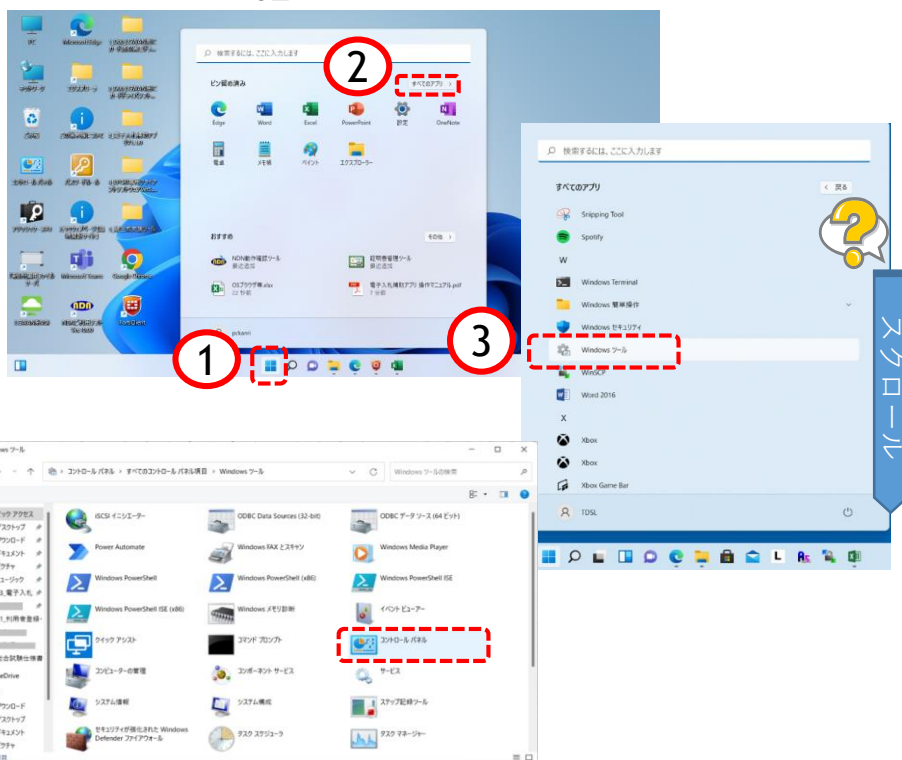
- ①「スタート」をクリックします。
- ②「Windowsシステムツール」ボタンをクリックします。
- ③「コントロールパネル」をクリックします。



下に移動する場合は、細いスクロールバーに

マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されます。スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。

<Windows11の場合>



手順1

以下の手順で、

- ①デスクトップ上の「スタート」をクリックします。
- ②「すべてのアプリ」をクリックします。
- ③「Windowsツール」をクリックします。Windowsツール画面が開いたら「コントロールパネル」をクリックします。



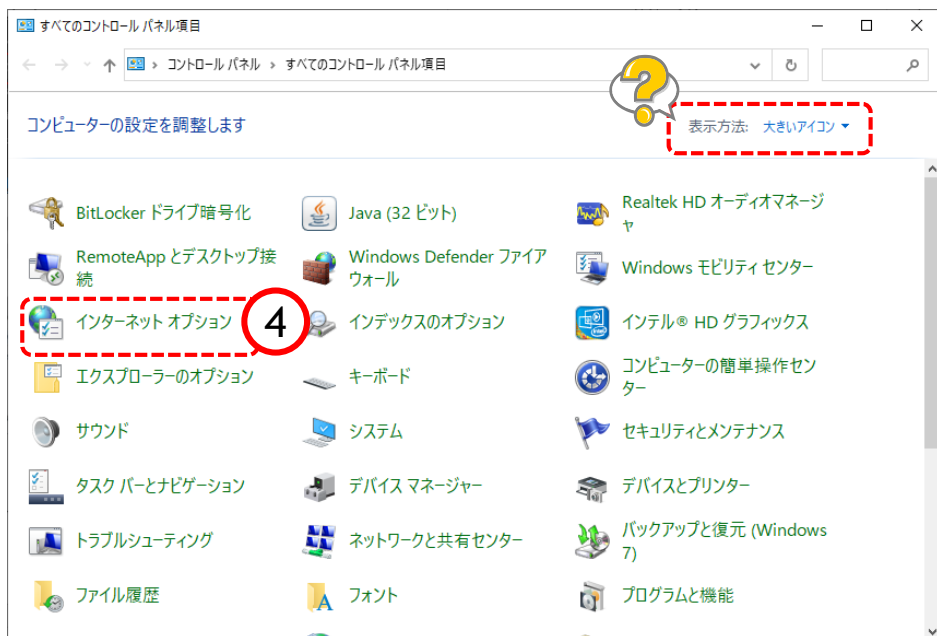
下に移動する場合は、細いスクロールバーに

マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されます。スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。

手順2

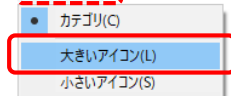
すべてのコントロールパネル項目画面が表示されます。

④「インターネットオプション」をクリックします。



コントロールパネルの表示が左の画面と違う場合は、

表示方法: カテゴリ▼



表示方法「カテゴリ▼」をクリックして、「大きいアイコン」を選択してください。

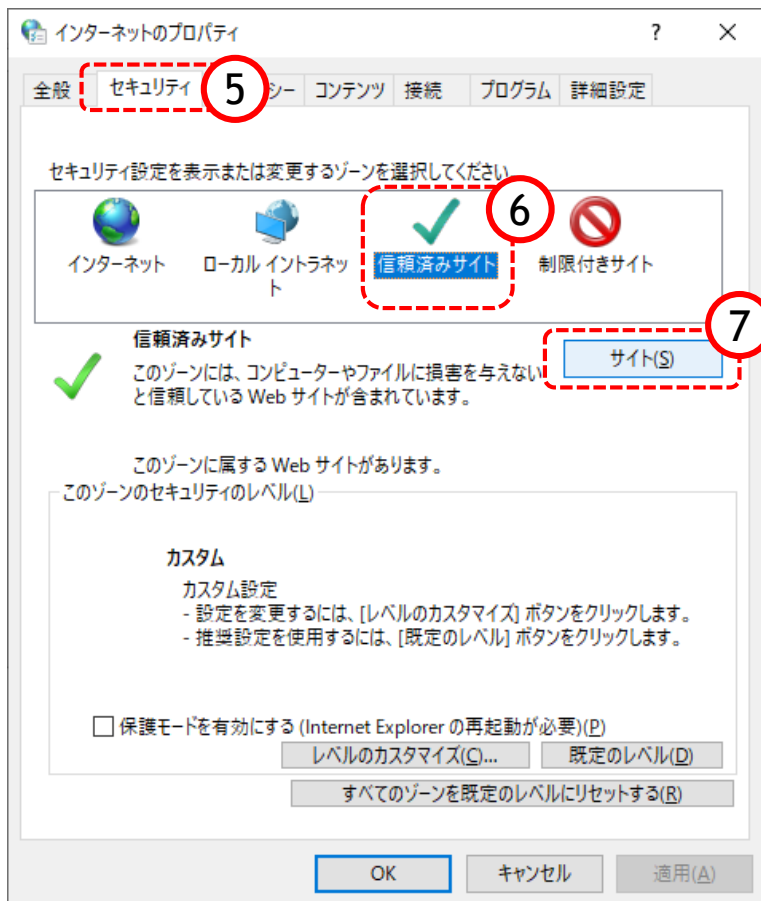
手順3

インターネットのプロパティ画面が表示されます。

⑤「セキュリティ」をクリックします。

⑥「信頼済みサイト」をクリックします。

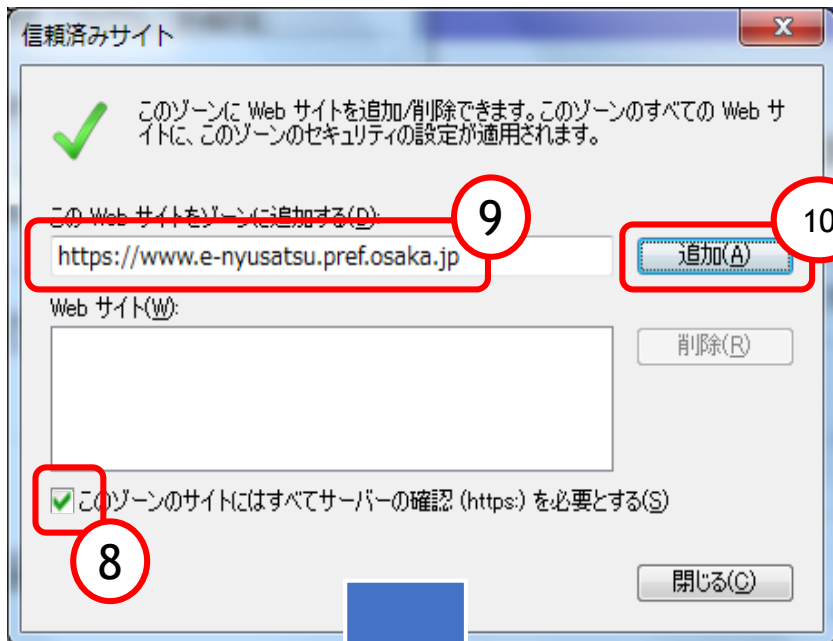
⑦「サイト」をクリックします。



登録していただくアドレス

https://eawww.e-nyusatsu.pref.osaka.jp

https://www.e-nyusatsu.pref.osaka.jp



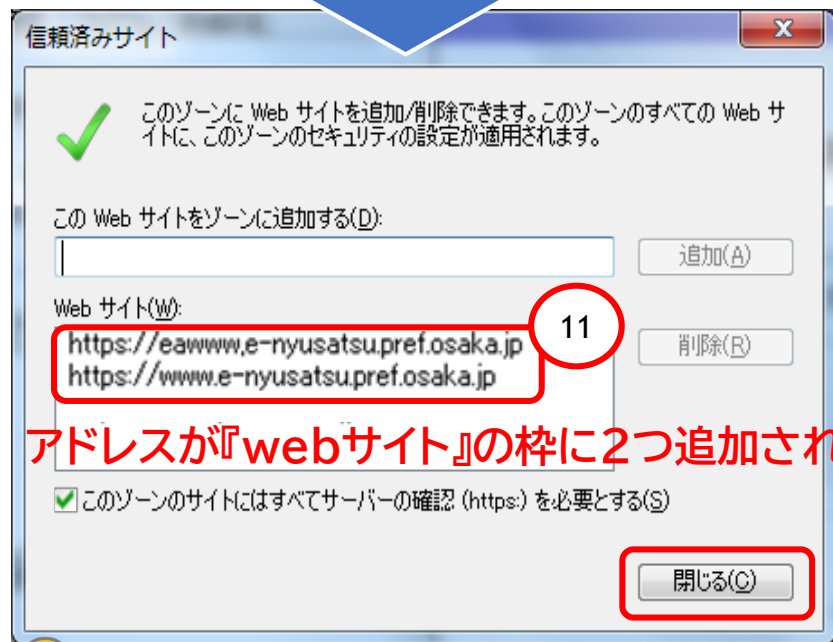
手順4

⑧「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認 (https) を必要とする」にチェックを入れる

⑨ 上記 2 つのアドレスを信頼済みサイトとして追加する

『このWebサイトをゾーンに追加する』のテキスト欄にアドレスを1つ入力します。
★アドレスが予め表示されている場合、httpsのsがない、e-が抜けていることが多いため、間違いないようご確認をお願いします。

⑩「追加」ボタンをクリック



手順5

⑪『Webサイト』の大きな枠にアドレスが入ったことを確認

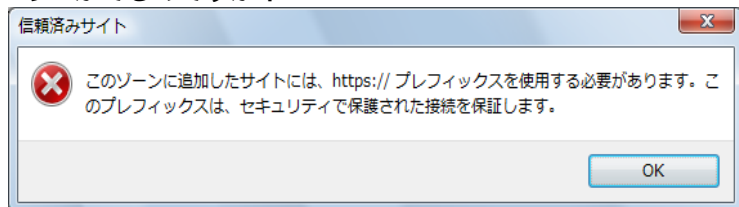
⑨、⑩の操作を2回行い、アドレスを2つ追加してください。

『Webサイト』の枠にアドレスが2つとも表示されると、信頼済みサイトの登録は完了です。最後に「閉じる」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

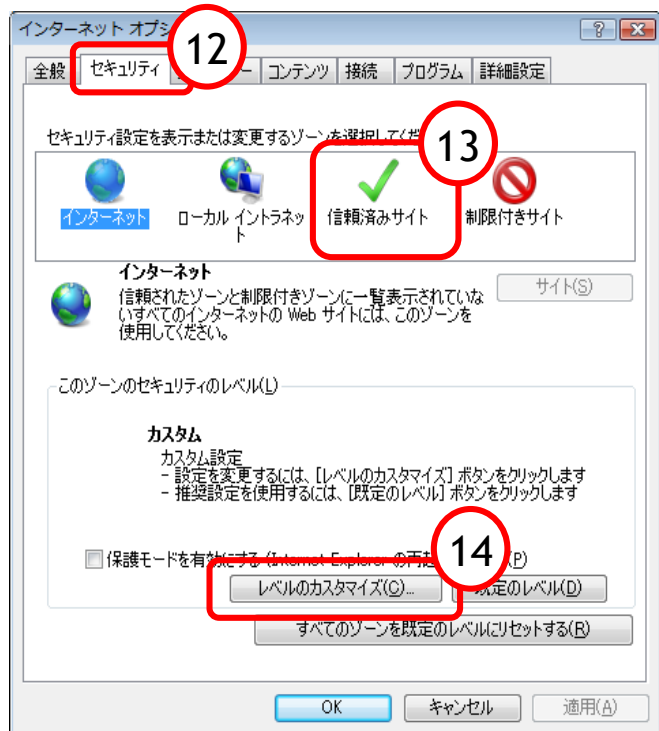
アドレスが『webサイト』の枠に2つ追加されれば完了です！



エラーがでるのですが？



↑上記のようなエラー画面が出てしまったときは、入力されているアドレスに間違いがないかもう一度確認してください。httpsのsが抜けていたり、スペースが入っていたりするとエラーになる場合があります。



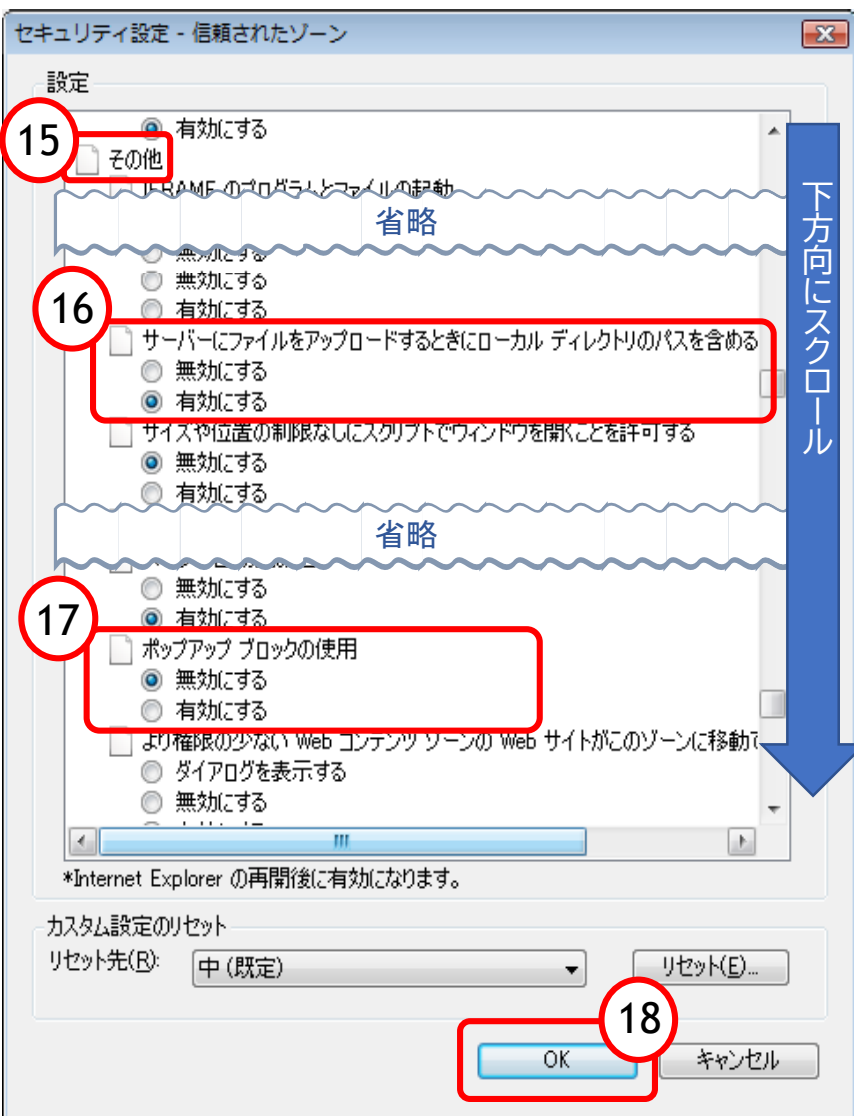
手順6

インターネットオプション画面に戻りますので、次に「信頼済みサイト」に対する詳細な設定を行います。

⑫「セキュリティ」タブをクリック

⑬「信頼済みサイト」アイコンをクリック

⑭「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリック



手順7

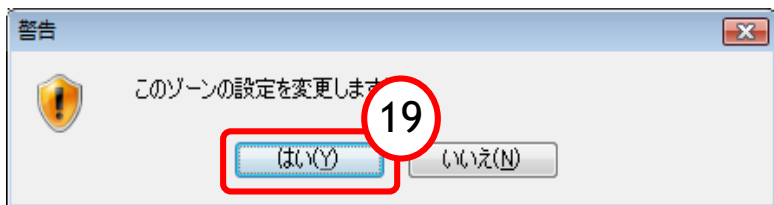
⑮ 下方方向にスクロールさせ『その他』という項目を表示させる

『その他』の中の2項目を設定します。

⑯ サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める
→「有効にする」に設定

⑰ ポップアップブロックの使用
→「無効にする」に設定

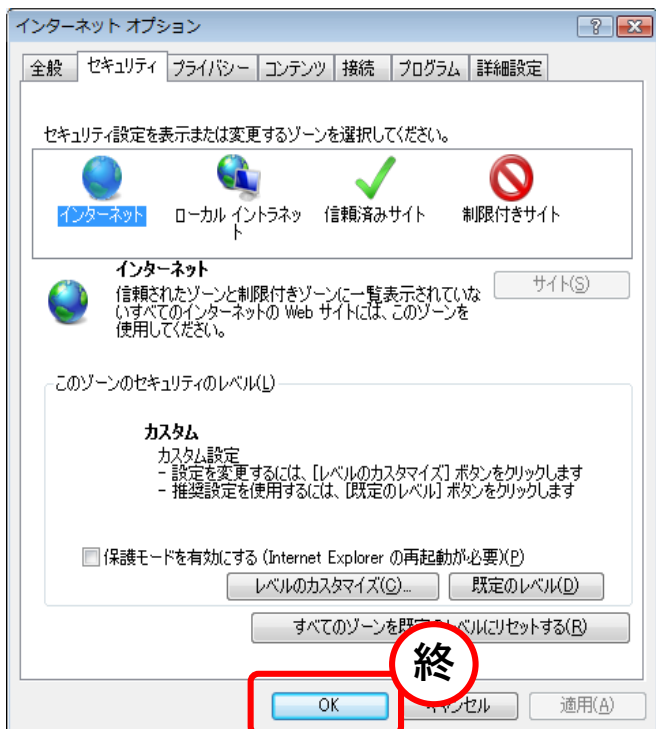
⑱ 「OK」ボタンをクリック



⑱警告画面が出る場合「はい」を選択

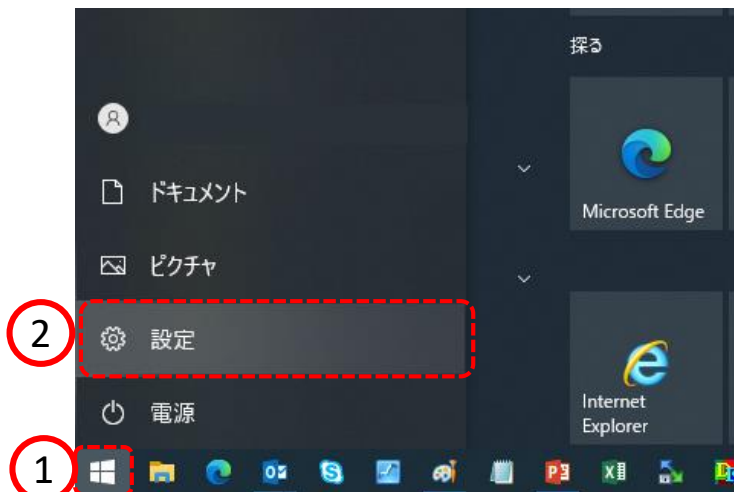
最後にインターネットオプションの画面を「OK」で閉じます。

以上で信頼済みサイトの登録は終了です。



5 a.既定ブラウザを Edge に変更する手順

<Windows10の場合>



手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ①「スタート」ボタンをクリックします。
- ②「設定」をクリックします。

<Windows11の場合>



手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ①「スタート」ボタンを**右クリック**します。
- ②「設定」をクリックします。



手順2

Windowsの設定画面が開きます。

- ③「アプリ」をクリックします。



手順3

アプリと機能画面が表示されます。

④「既定のアプリ」をクリックします。

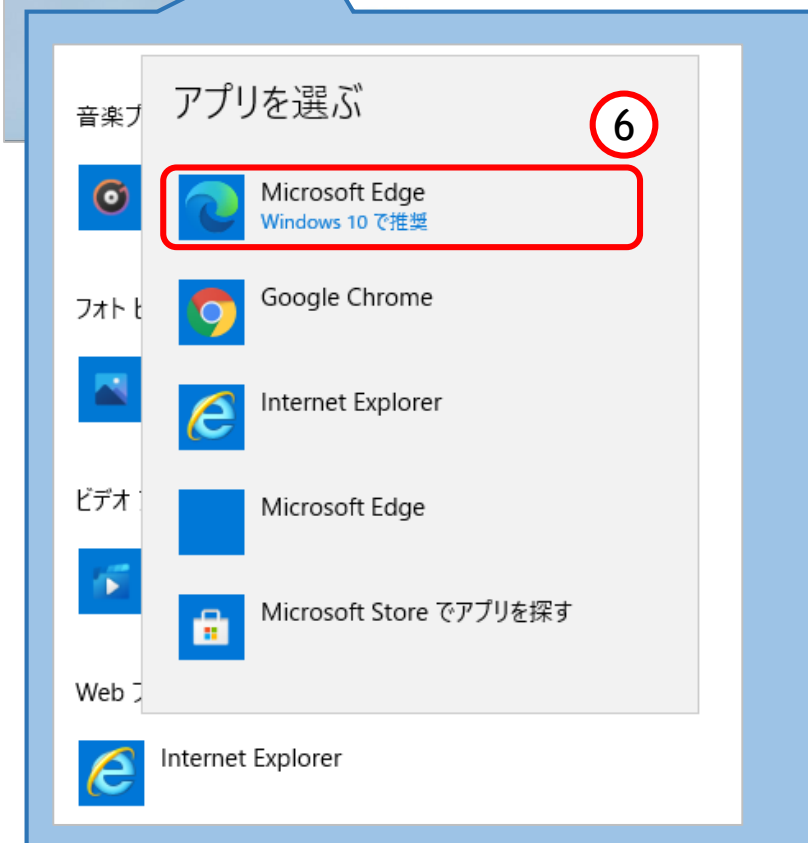


手順4

既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

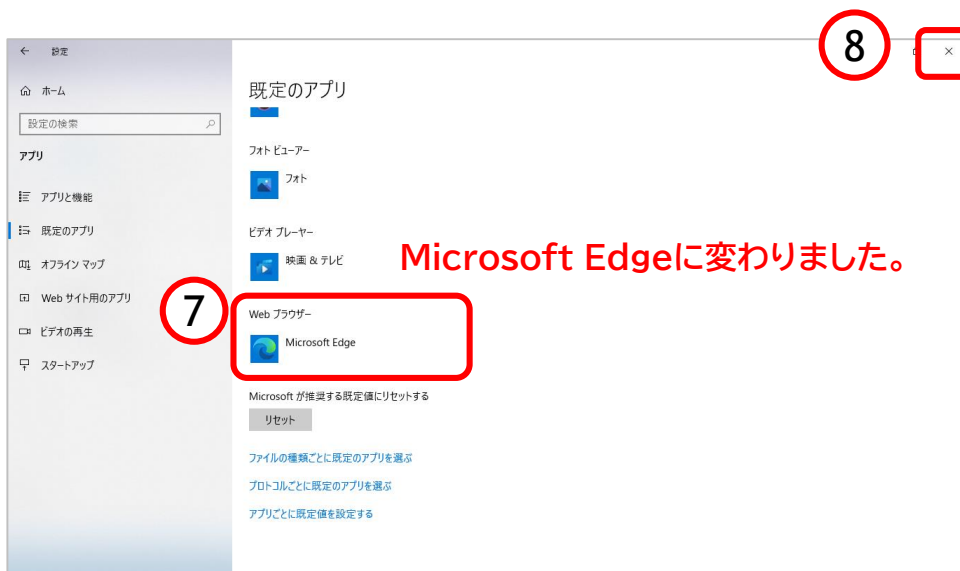
左記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。



手順5

アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Microsoft Edge」をクリックします。



手順6

既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Microsoft Edge」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で既定ブラウザをEdgeに変更する手順は終了です。

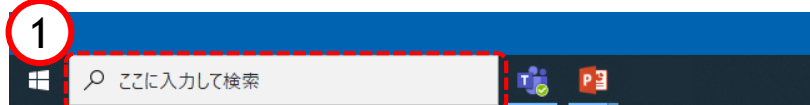
(参考)Microsoft Edgeの起動方法

「Microsoft Edge」を起動します。



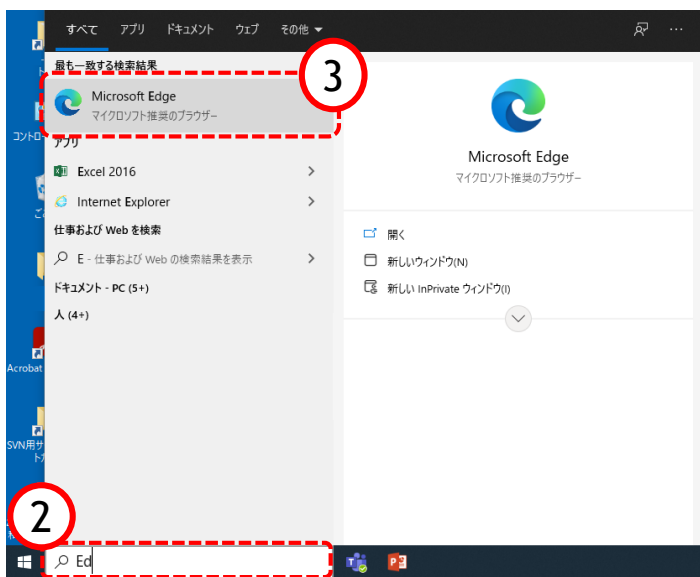
タスクバーの「Microsoft Edge」を選択します。

タスクバーにMicrosoft Edgeが無い場合



手順1

①「検索」欄を選択します。



手順2

②「検索」欄に“Ed”と入力します。

③検索結果にMicrosoft Edgeが表示されます。「Microsoft Edge」をクリックします。

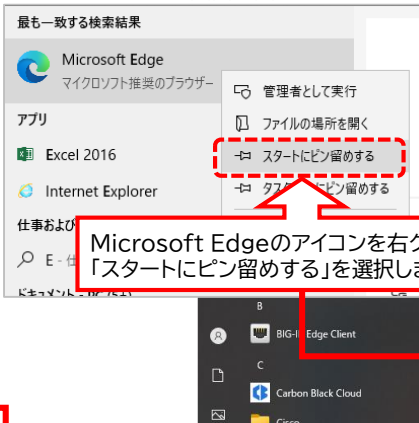
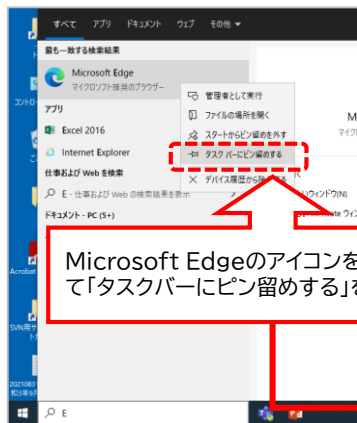


Microsoft Edgeを表示したい度に検索しないといけませんか？

タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

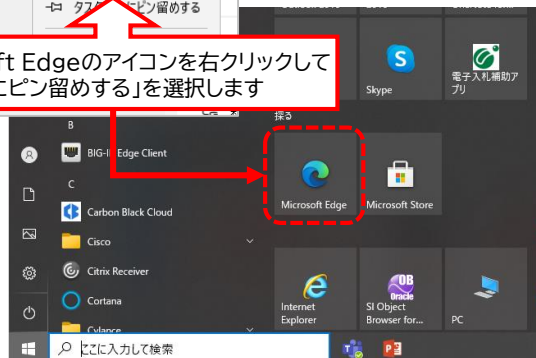
<タスクバーに固定する>

<スタート画面に固定する>



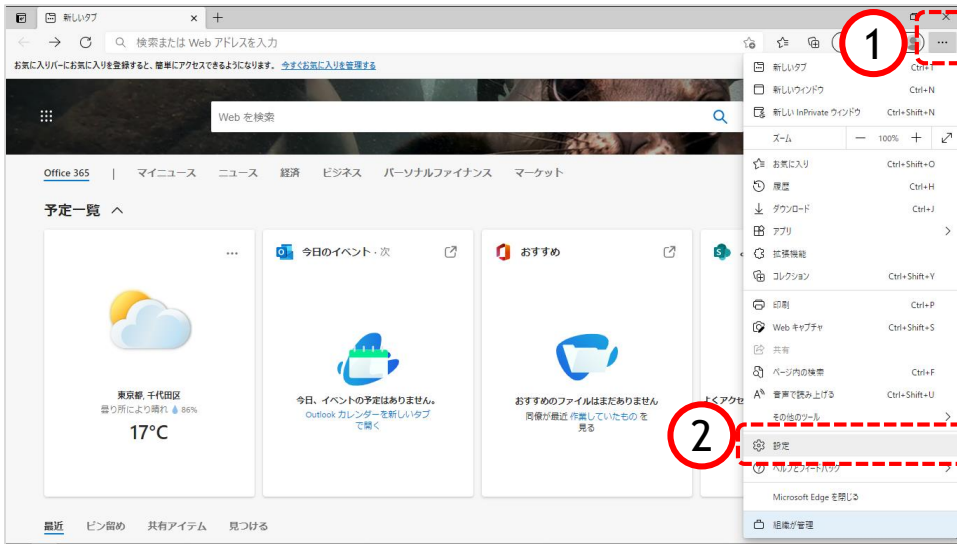
Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します



6a. キャッシュクリア方法

ブラウザを「Microsoft Edge」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。
設定の手順は以下の通りです。



手順1

以下の手順で、
Microsoft Edge画面から設定画面
を開きます。

- ①「…」ボタンをクリックします。
- ②「設定」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示され
ます。

- ③「プライバシー、検索、サービス」を
クリックします。

手順3

プライバシー、検索、サービス画面が表示されます。

④『閲覧データのクリア』欄の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



手順4

閲覧データをクリア画面が表示されます。

⑤『時間の範囲』項目の「すべての期間」を選択します。

⑥「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスにチェックをします。

⑦「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

データクリアが完了すると、プライバシー、検索、サービス画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。



7a. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

[*.]pref.osaka.jp

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「.」はピリオド
(「る」のキーから入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。

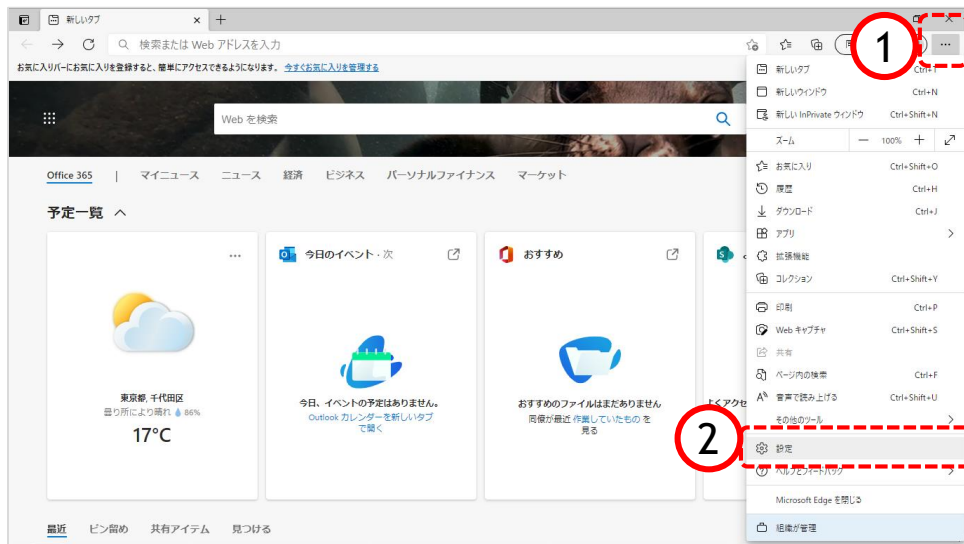


半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図(一部抜粋)



- [:左角カッコ
- * :アスタリスク
- . :ピリオド
-] :右角カッコ



以下の手順で、**手順1** Microsoft Edge画面から設定画面を開きます。

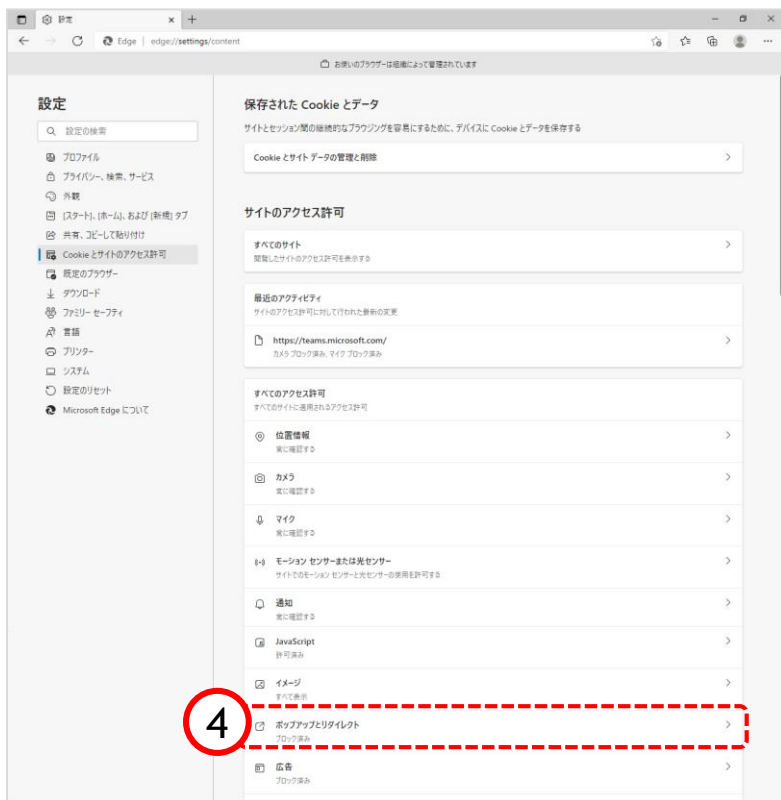
- ①「…」ボタンをクリックします。
- ②「設定」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

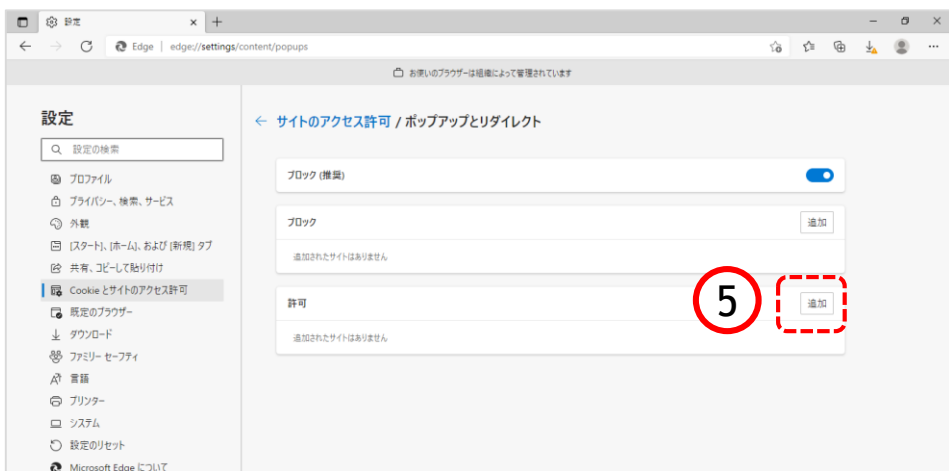
- ③「Cookieとサイトのアクセス許可」をクリックします。



手順3

Cookieとサイトのアクセス許可画面が表示されます。

④「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



手順4

ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑤『許可』欄の「追加」ボタンをクリックします。



手順5

サイトの追加画面が表示されます。

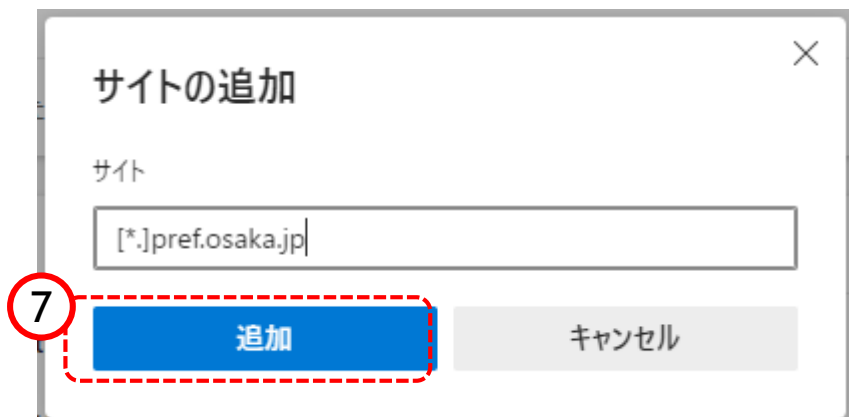
⑥『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、
[*.]pref.osaka.jp
です。



手順6

⑦「追加」ボタンをクリックします。



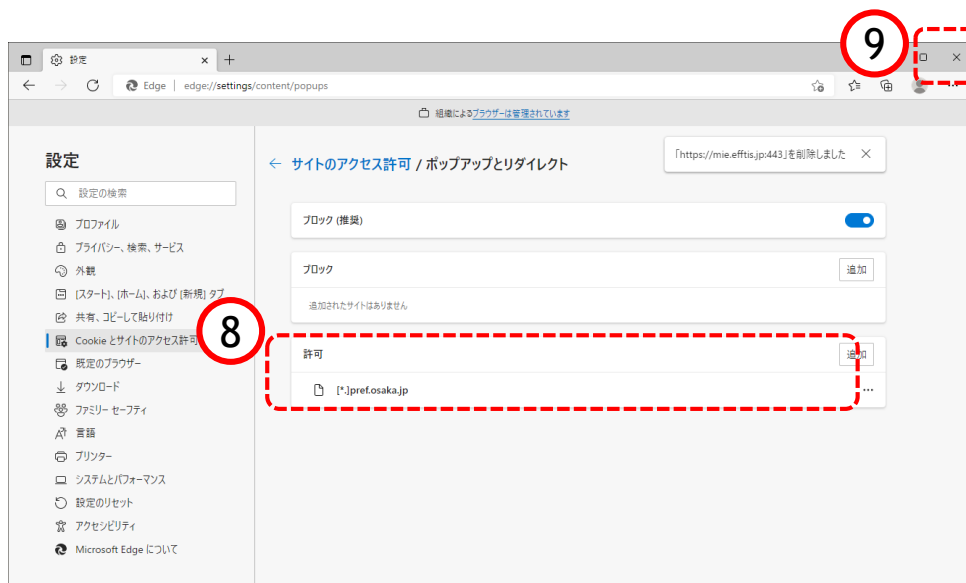
手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑧『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

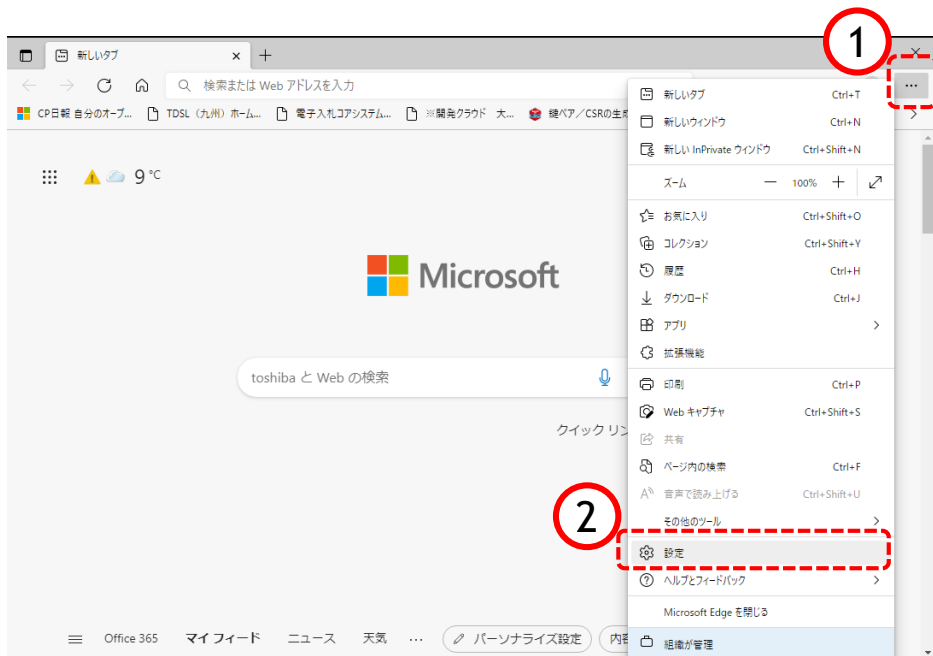
⑨ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。



8a. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

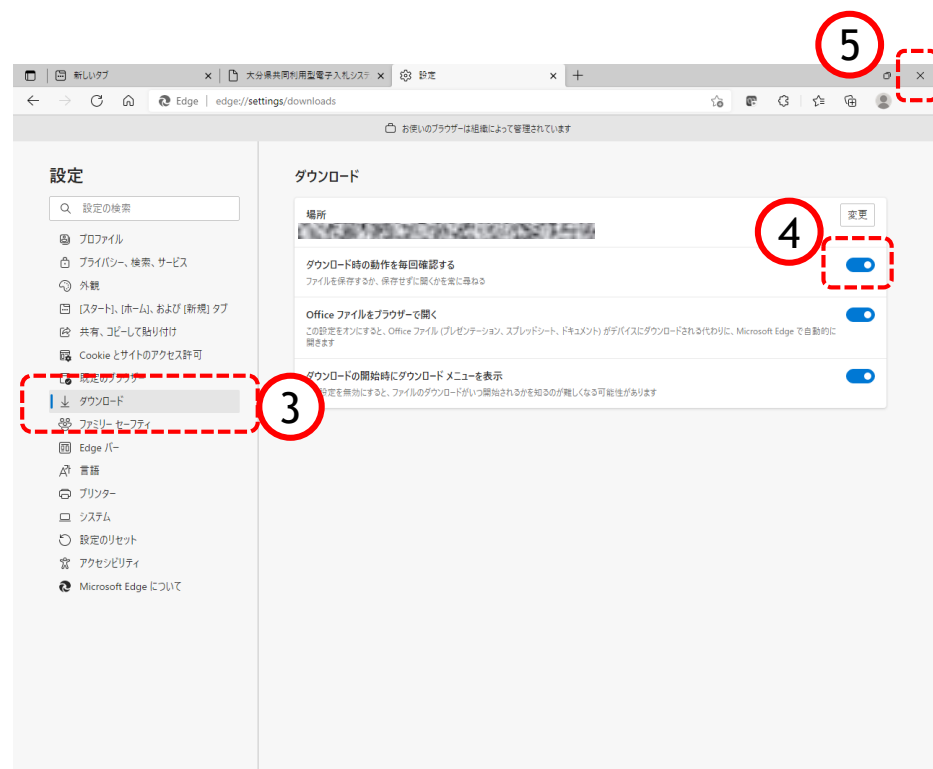
以下の設定をすることによって、Edgeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。



手順1

以下の手順で、

- ①「⋯」をクリックします。
- ②「設定」をクリックします。



手順2

設定画面が表示されます。

③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「↓ダウンロード」をクリックします。

④ 画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効 にします。

⑤ 右上「×」ボタンをクリックし、Edgeの設定画面を閉じます。

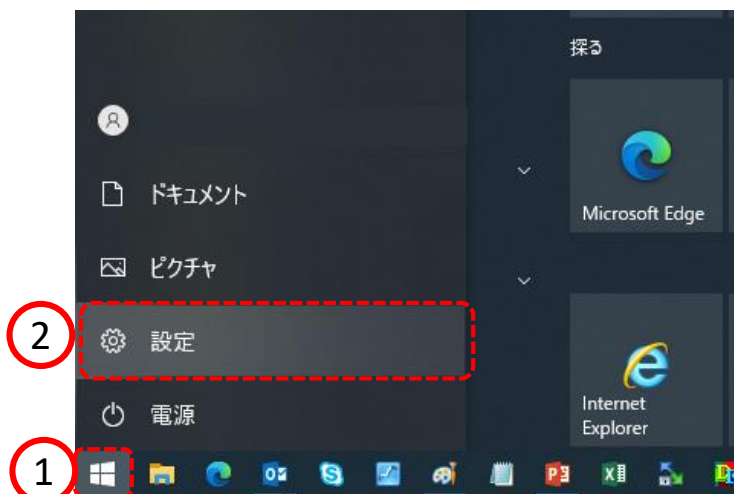
以上で、ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法は終了です。

Microsoft Edge (Chromium版)を使用する方の設定は以上で終了です。続けて「8. 注意事項(36～39ページ)」をご確認ください。

5 b.既定ブラウザを Chrome に変更する手順

本書では、Chromeがご使用の端末にインストール済みの手順を記載しています。
Chromeインストール方法が判らない場合は、Edgeのご利用をお願い致します。

<Windows10の場合>



手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ①「スタート」ボタンをクリックします。
- ②「設定」をクリックします。

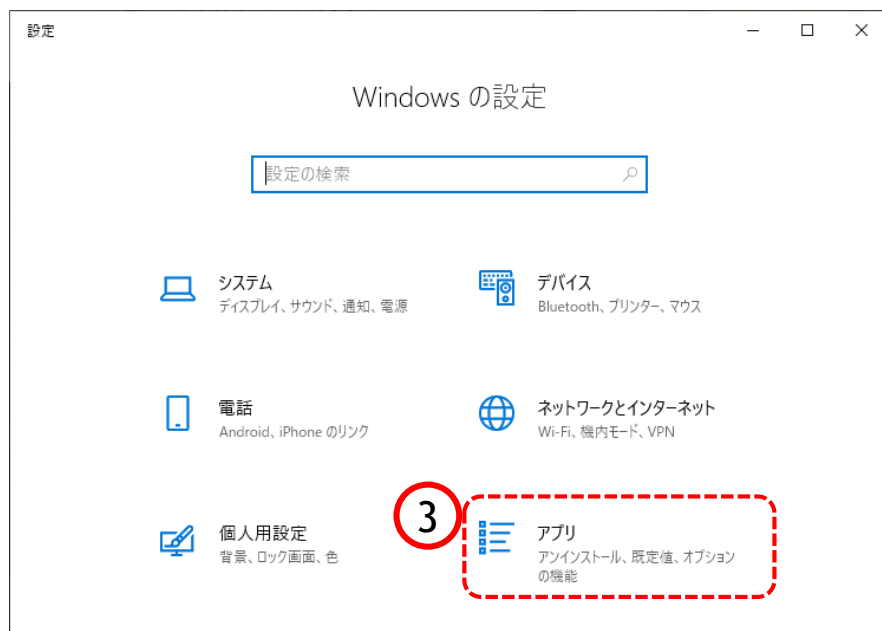
<Windows11の場合>



手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ①「スタート」ボタンを**右クリック**します。
- ②「設定」をクリックします。



手順2

Windowsの設定画面が開きます。

- ③「アプリ」をクリックします。



手順3

アプリと機能画面が表示されます。

④「既定のアプリ」をクリックします。



手順4

既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

左記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。



手順5

アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Google Chrome」をクリックします。

切り替え前に

Microsoft Edge をお試しください。Windows 10 のために生まれた、まったく新しい高速なアプリです。

ご確認ください

強制的に変更する



手順6

「切り替え前に」という画面が表示される場合は、「強制的に変更する」を押下してください。

既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Google Chrome」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。



以上で既定ブラウザをChromeに変更する手順は終了です。

(参考)Google Chromeの起動方法

「Google Chrome」を起動します。



タスクバーの「 Google Chrome」を選択します。

タスクバーにGoogle Chromeが無い場合

1



手順1

①「検索」欄を選択します。

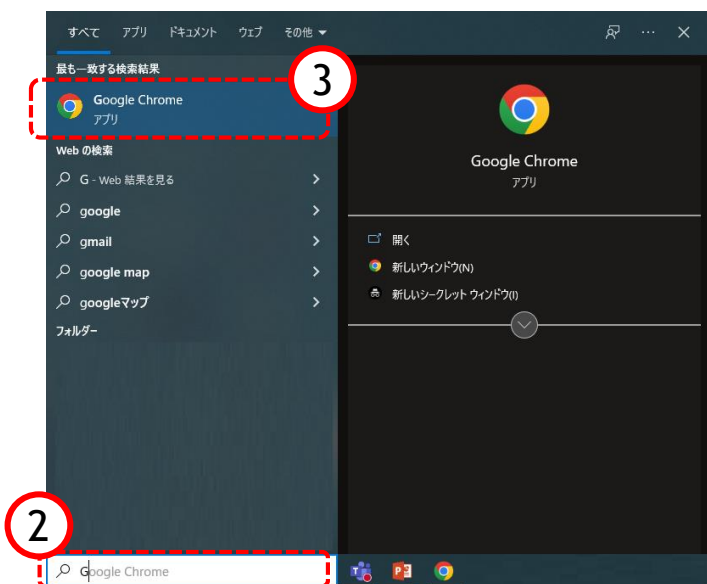
2



手順2

②「検索」欄に“G”と入力します。

3

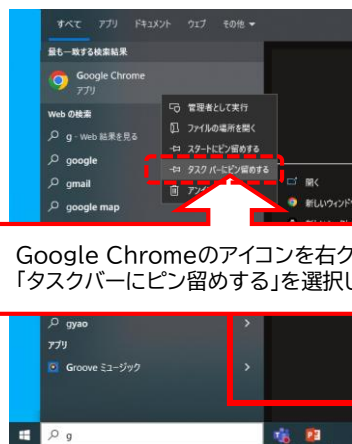


③検索結果にGoogle Chromeが表示されます。
「Google Chrome」をクリックします。

Google Chromeを表示したい度に検索しないといけませんか？

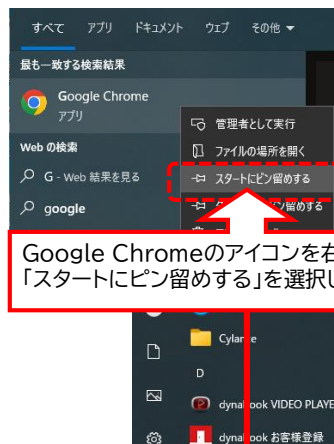
タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

<タスクバーに固定する>



Google Chromeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

<スタート画面に固定する>



Google Chromeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します


6b. キャッシュクリア方法

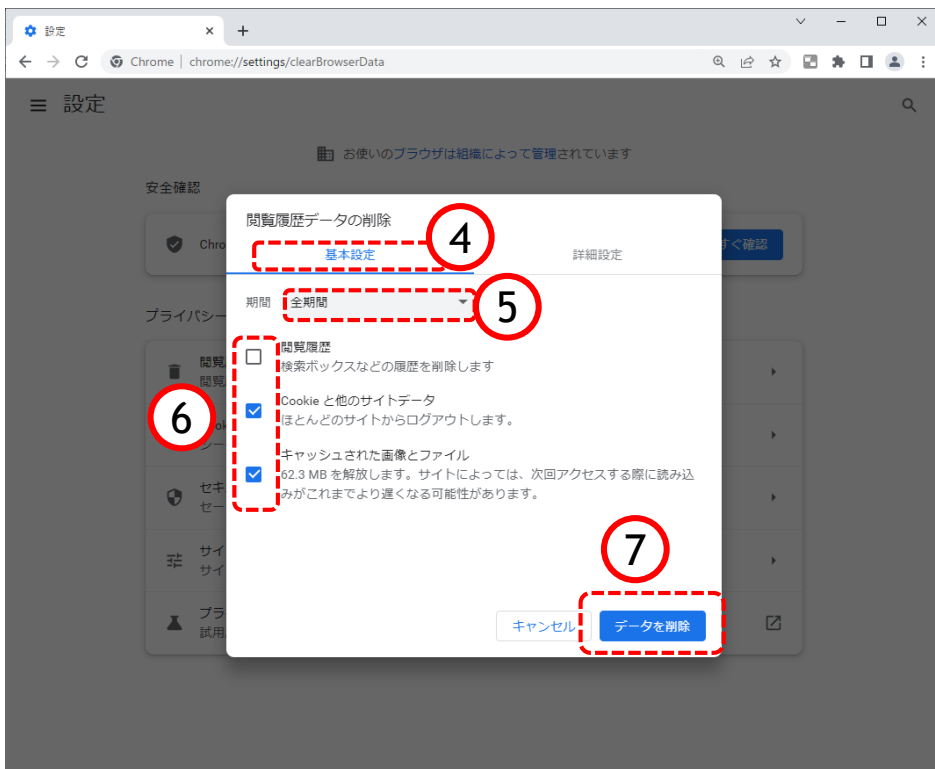
ブラウザを「Google Chrome」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。
設定の手順は以下の通りです。



手順1

以下の手順で、
Google Chrome画面から設定
画面開きます。

- ①  ボタンをクリックします。
- ② 「その他のツール」をクリックします。
- ③ 「閲覧履歴を消去」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示され
ます。

- ④ 「基本設定」をクリックします。
- ⑤ 『期間』項目の「全期間」を選択し
ます。
- ⑥ 「閲覧履歴」のチェックボックスに
チェックが入っている場合、外します。
- 「Cookie と他のサイトデータ」と
「キャッシュされた画像とファイル」の
チェックボックスをチェックします。
- ⑦ 「データを削除」ボタンをクリックし
ます



手順3

データクリアが完了すると、設定画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。



7b. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。
ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。
ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

[*.]pref.osaka.jp

- 「[」は左角カッコ
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「*」はアスタリスク
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「.」はピリオド
(「る」のキーから入力可能)
- 「]」は右角カッコ
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。

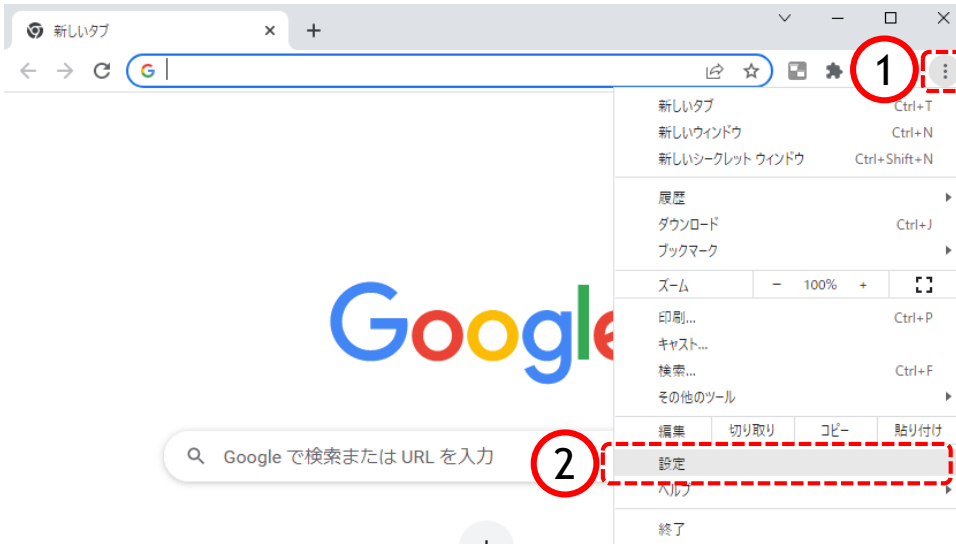


半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図(一部抜粋)



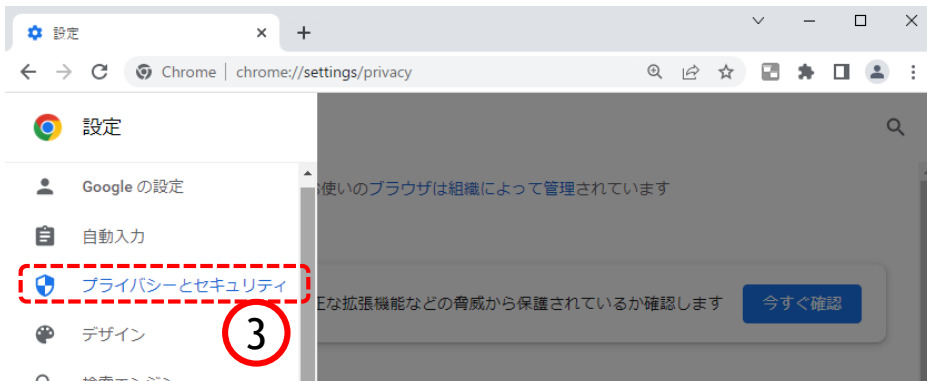
- [:左角カッコ
- * :アスタリスク
- . :ピリオド
-] :右角カッコ



手順1

以下の手順で、
Google Chrome画面から設定
画面開きます。

- ① [三 dots] ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



手順2

設定のプロファイル画面が表示され
ます。

- ③ 「プライバシーとセキュリティ」をク
リックします。



手順3

プライバシーとセキュリティ画面が表示されます。

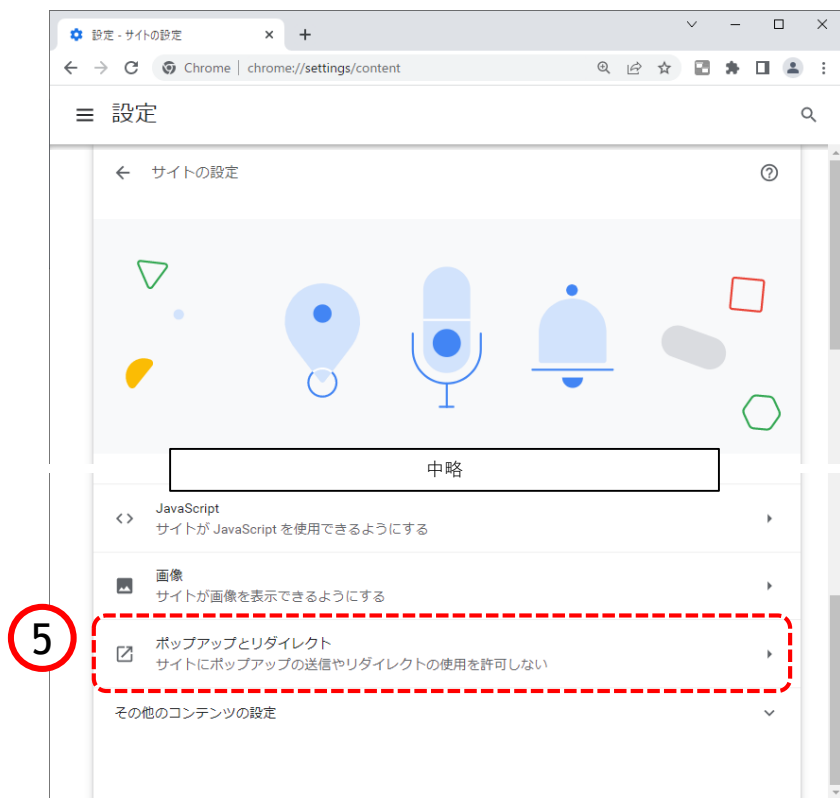
④「サイトの設定」をクリックします。




手順4

サイトの設定画面が表示されます。

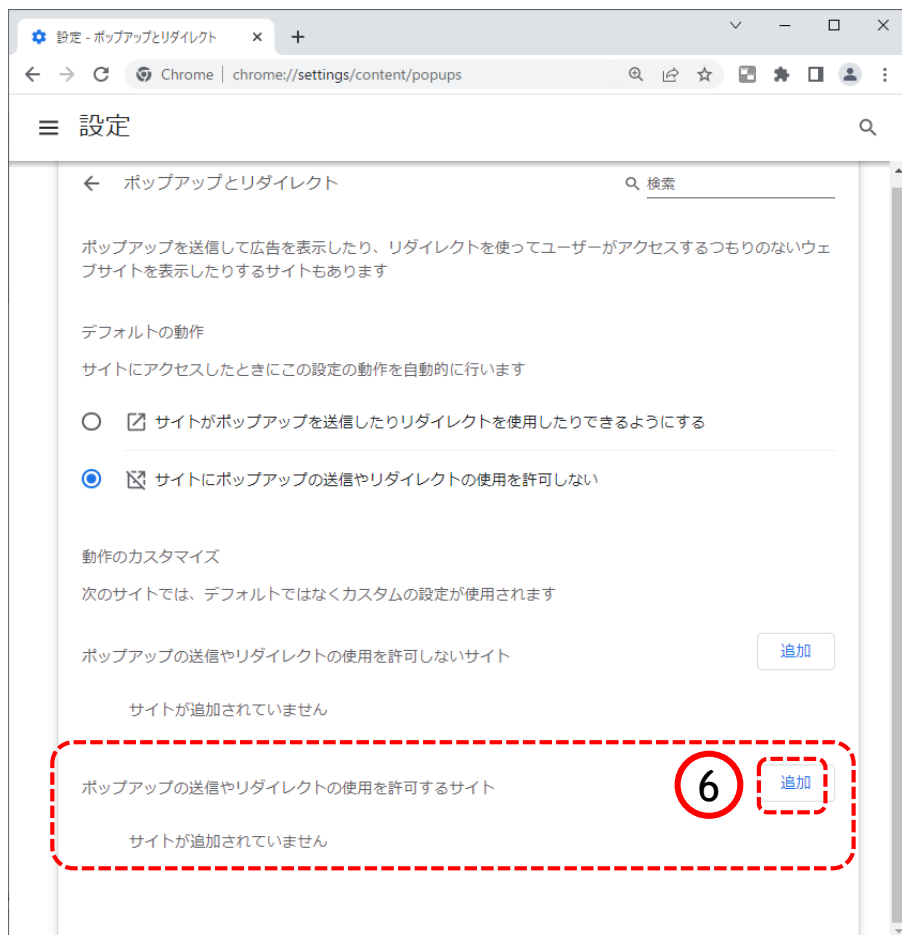
⑤『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。





手順4

⑥ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」ボタンをクリックします。



手順5

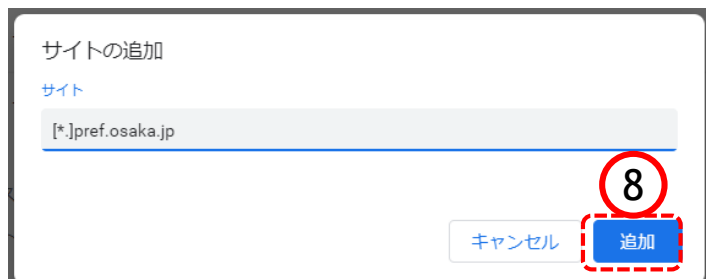
サイトの追加画面が表示されます。

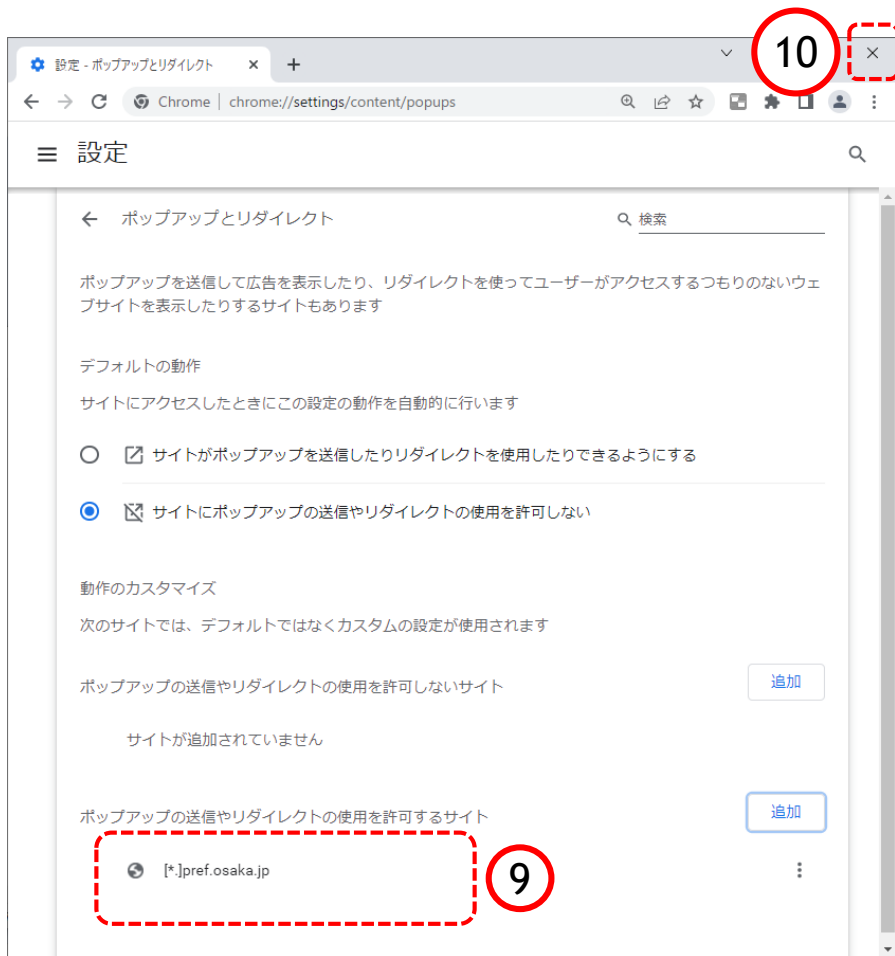
⑦『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、**[*.]pref.osaka.jp**です。



⑧「追加」ボタンをクリックします。





手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑨ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑩ 右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。

8b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

以下の設定をすることによって、Chromeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。

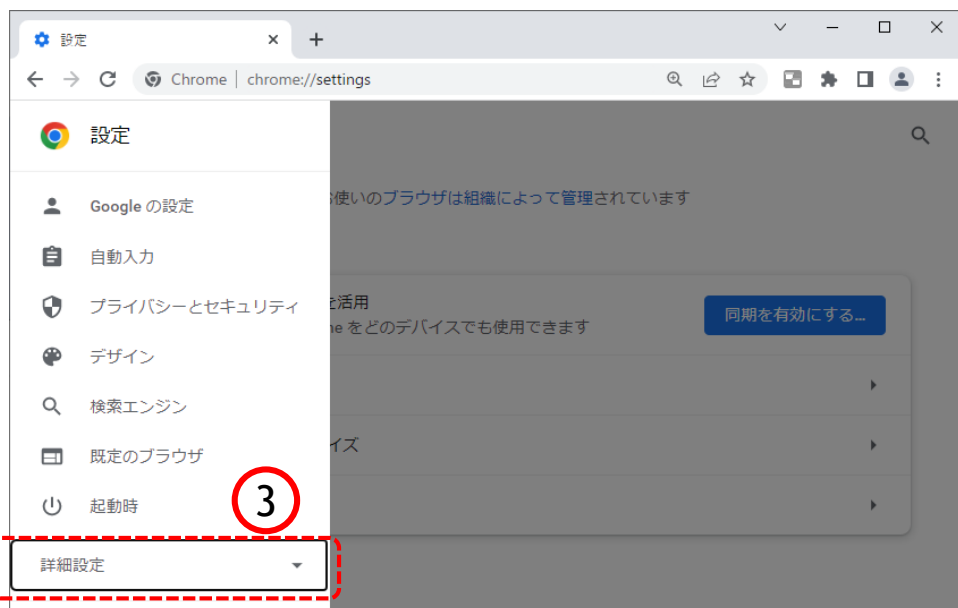


手順1

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

①  ボタンをクリックします。

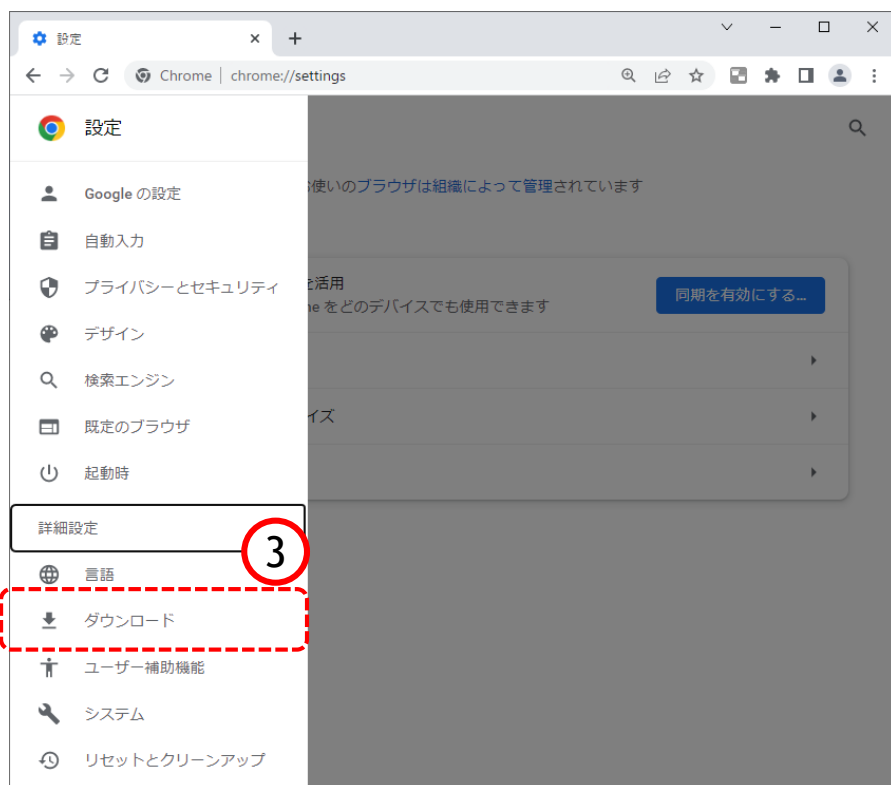
② 「設定」をクリックします。



手順2

設定画面が表示されます。

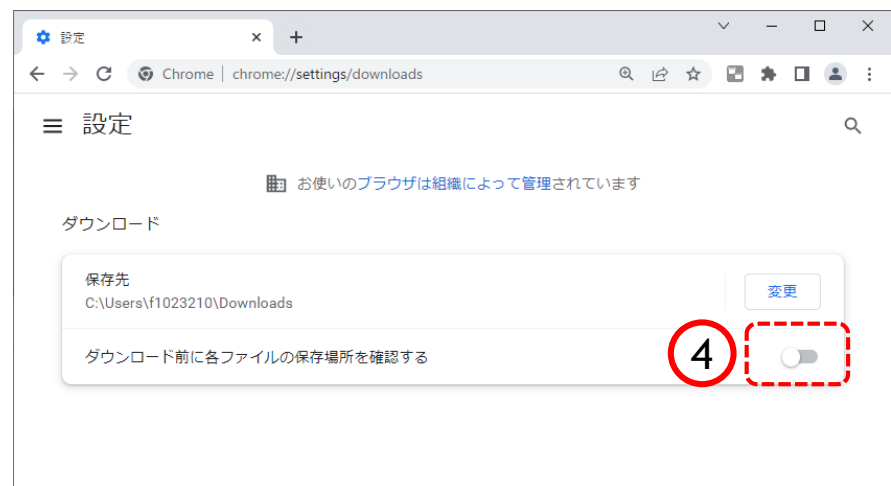
③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「詳細設定」をクリックします。



手順3

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面を開きます。

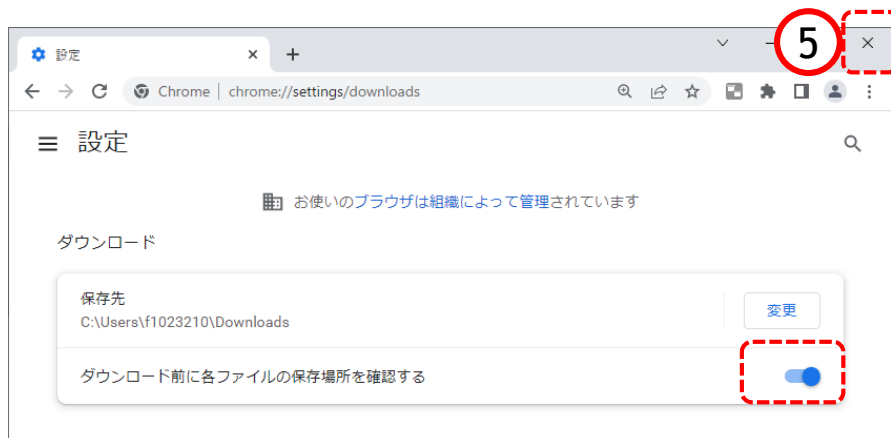
③「ダウンロード」をクリックします。



手順4

設定画面が表示されます。

④画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効 にします。



⑤ 右上「X」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

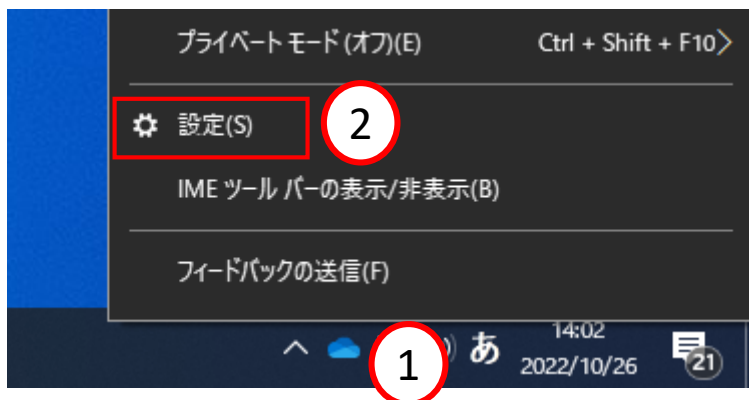
以上で、ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法は終了です。

8. 注意事項【JIS2004の使用制限について】

Windows 10、11 では、JIS X 0213:2004(JIS 2004)対応フォントのみが搭載されており、Windows 7 まで利用可能であった JIS 90 フォントパッケージは搭載されていません。

システムをご利用いただく場合には、以下の設定を行っていただきますようお願い致します。

<Windows10/11の場合>



手順 1

① 通知領域の「あ」(または「A」)を右クリック

②メニューの「設定」をクリック



手順 2

③ Microsoft IMEの【全般】をクリック



手順 3

④ スクロールします。

⑤ 「変換候補の一覧に含める文字セットを選択する」の項目の「JIS X 0208のみ」にチェックを入れてください。

⑥「×」で閉じます。

以上の操作で、Windows 10、11おける JIS 2004 対応の設定は完了です。

9. お問い合わせ先

(1) パソコンの環境設定に関すること

大阪府電子調達システムヘルプデスク

電話番号	06-4400-5180
電話受付時間	平日 9:00~17:30
内容	電子入札システム、電子申請システム、電子見積合せの操作方法、不具合等の受付及び問合せに対する回答

★問合せ時のお願い★

- ・ご案内の前に、必ず**担当者様名、お電話番号**をお伺いしております。ご案内の情報が不足があった場合や、重要なお知らせがあった場合にすぐにご連絡ができるように努めておりますので、ご協力をお願いいたします。
- また、パソコンの不具合などの場合は パソコンのメーカー、OSの種類、インターネットブラウザの種類などもお伺いいたしますので、事前にお調べいただくとスムーズにご案内ができます。
- ・電子入札・電子見積合せに関わりのない、パソコンやネットワーク、その他ソフトウェアの不具合に対してはご案内できかねますのでご了承ください。
- ・ご案内する内容によっては他の部署や機関へお電話をおかけ直しいただく場合がございます。予めご了承ください。

(2) 電子見積合せの制度に関すること

大阪府総務部契約局総務委託物品課企画・システムグループ
 メール: keiyaku-kento@gbox.pref.osaka.lg.jp
 電話: 06-6944-6364

(3) 発注内容について

発注所属をお願いします。
 発注概要書に記載の問合せ方法に従ってください。